



議会だより



小学生が小矢部市役所議場を見学

大谷小学校 3 年生 73 名が、「総合的な学習の時間」の校外学習として、小矢部市役所を訪問し、中村市議会議長から議会のしくみの説明を受けた後、議場を見学しました。

12 月定例会の概要

12 月 7 日から 21 日までの 15 日間を会期として開催しました。

初日は平成 24 年度小矢部市一般会計補正予算（第 4 号）など議案 5 件、最終日には議員提出議案 3 件、人事案件 3 件が追加上程され、計 11 議案を原案のとおり可決しました。

なお、初日には 9 月定例会で継続審査となっていた平成 23 年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など決算認定 7 議案も認定しました。

また、陳情 4 件の処理報告、議員派遣の可決を行いました。

目次

概要	1
審議経過	2
可決議案	
人事案件	
陳情の処理状況	
代表・一般質問	3
議長交際費	7
傍聴のお知らせ	
3 月定例会の日程	
議会報告会	8
会務報告	9
委員会報告	10
編集後記	

12月定例会の
審議経過

- 7日 本会議（提案理由説明）
全員協議会
- 10日 議案調査日
- 11日 議案調査日
- 12日 議案調査日
- 13日 議会運営委員会
本会議（代表・一般質問）
- 17日 防災・環境対策特別委員会
民生文教常任委員会
- 18日 まちづくり特別委員会
産業建設常任委員会
総務常任委員会
- 19日 委員長会議
- 20日 議会運営委員会
全員協議会
- 21日 本会議（質疑・討論・表決）

人事案件

- ◎小矢部市公平委員会委員の選任
同意
太田 おおた むつ子 氏（埴生）
- ◎小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意
石尾 いしお 博美 氏（小矢部町）
- ◎人権擁護委員の候補者の推薦
上田 うへだ 紀久子 氏（道明）

12月定例会で可決された議案

（決算認定）

- 認定第1号 平成23年度小矢部市一般会計歳入歳出決算
- 認定第2号 平成23年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第3号 平成23年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第4号 平成23年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第5号 平成23年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第6号 平成23年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第7号 平成23年度小矢部市水道事業会計決算

（補正予算）

- 議案第36号 平成24年度小矢部市一般会計補正予算（第4号）

（条例の一部改正）

- 議案第37号 小矢部市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正について

（その他）

- 議案第38号 小矢部市のごみの焼却処理に関する事務の委託に関する協議について
- 議案第39号 小矢部市のごみの焼却処理に関する事務の委託に関する協議について

（専決承認）

- 承認第5号 専決処分事項の承認について
専決第5号 平成24年度小矢部市一般会計補正予算（第3号）

（追加議案・議員提出）

- 議員提出議案第5号 小矢部市議会基本条例の一部改正について
- 議員提出議案第6号 小矢部市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について
- 議員提出議案第7号 障害者に対する公的医療費助成制度の充実を求める意見書

（追加議案・人事案件）

- 同意第2号 小矢部市公平委員会委員の選任同意について
- 同意第3号 小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について
- 諮問第3号 人権擁護委員の候補者の推薦について

陳情の処理状況
次のとおり、陳情の処理を行いました。

受理番号	件名（陳情者）	審査結果
陳情第3号	小矢部市観光協会に対する財政的支援について陳情 (小矢部市観光協会 会長 中嶋秀明)	採 択
陳情第4号	直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業への支援を求める意見書提出に関する陳情書 (国土交通省管理職ユニオン北陸支部 執行委員長 土肥和広ほか1名)	保 留
陳情第5号	地方自治体の重度障害者（児）医療費助成制度及び自立支援医療費の改善を求める国への意見書採択に関する陳情書 (社会福祉法人富山県身体障害者福祉協会 会長 岡本武勇ほか5名)	採 択
陳情第6号	社会福祉事業に関する陳情書 (社会福祉法人小矢部市社会福祉協議会 会長 宇佐見外行)	採 択

代 表 質 問

創生会 尾山 喜次 議員

◎平成25年度予算編成方針に CSN

【問】平成25年度予算編成方針と今後の事業の取り組みについて伺う。

【答】政策的経費の一般財源ベースで対前年比20%の削減、第六次総合計画事業は10%の縮減を行う方針である。現在進めている石動小学校改築事業、石動駅南土地区画整理事業は着実に進める。また、市民の期待の高い東部産業団地の造成や石動駅周辺整備などの大型事業について、事業内容等を具体的に検討していく。

【問】教育、子どもや高齢者が安心して暮らせる社会づくりのために、どのように取り組むのか。

【答】議会による事業評価や外部評価、タウンミーティングでのご意見、庁内での検討結果を参考に、既存事業の見直し・拡充、新規事業の立案などいろいろな方向から考え、知恵を絞って予算編成に当たる。

◎都市計画と並行在来線に CSN

【問】石動駅南土地区画整理事業の

整備状況はどうか。

【答】平成24年度末の進捗率は約61%で、順調に進んでおり、平成26年度までに工事が完了し、平成27年度に換地処分を行い事業を完了する予定である。

【問】石動駅のバリアフリー化と南北自由通路をどのように進めるのか。

【答】JR西日本で実施されるもので、エレベーター2基を設置するなどで、平成26年度の完了に向け進められる。南北自由通路は、石動駅周辺整備計画に対する市民のご意見を参考に、今後、基本計画を策定する。

【問】並行在来線の運営会社への出資金及び運賃について伺う。

【答】具体的な出資金額や市町村負担額は、平成25年1月に開催される富山県並行在来線対策協議会で示される予定である。また、運賃水準の設定に当たっては、値上げ幅の極力抑制と富山石川間で乗り継ぐ場合の初乗り運賃が過剰負担にならないよう要望している。

【問】石動駅周辺の駐車場料金の無料化について伺う。

【答】駅周辺には有料駐車場が数多く存在しているが、石動駅の利用者増を図るため、10月から駅前駐車場の回数券を発行している。その効果を見極める必要がある。

◎今後の観光開発と大河ドラマ化について

【問】観光地の開発と発展のために頑張っている小矢部市観光協会への今後の財政支援について伺う。

【答】平成26年度末の北陸新幹線の金沢開業に向け、交流人口の増加と観光振興推進のため、市観光協会の役割は大きい。今後、国や市の補助金等の支援により、さらなる本市の情報発信に努めていきたい。

【問】木曾義仲と巴御前のNHK大河ドラマ化を、創生会の平成25年度重点要望に掲げ、市長に要望書を出した。今後どのように取り組まれるのか伺う。

【答】平成23年から署名活動を実施しており、大河ドラマ化を願う熱意を示すバロメーターでもあり、今後市民の機運醸成を図り、県及び義仲・巴のゆかりの自治体と連携しながら効果的な誘致活動を展開し、金沢開業時にあわせた大河ドラマ放映実現を目指していく。

◎アートハウスの施設の建設について

【問】本市の芸術文化行政の中心となる拠点づくりのため、1億5千万円の寄付の申し出があるアートハウスの建設を実現することが大

切であると思うが、最終的にどのように考えているのか。

【答】美術館の建設には財政的な問題があることから、これまで有識者の検討委員会で建設の是非を含めて協議していただくとともに、庁内でも検討を重ねた。また、タウンミーティングでの議論、市PTA連絡協議会や青年会議所との意見交換の中では、ローコストのアートハウスの施設なら良いのではないかという意見が多かったように思う。何よりも議会の議論が最も重要だが、これまでの議論を通して、建設については是としたと今は思っている。

◎本市の今後の農業について

【問】農業には、食糧生活だけでなく、水源を守り、洪水から都市を守り、多面的な機能を持っている。これが、PPPの参加によって農村や地域社会が崩壊し、日本全体がだめになってしまうと思われるが、市長の考えを伺う。

【答】国の試算によると、PPPに参加することで、日本の農業は大きな打撃を受けるとしている。PPP交渉参加は経済的見地のみで議論されるものではない。聖域なき関税撤廃を前提にする限り、交渉参加には反対の立場である。

代 表 質 問

新風会
吉田 康弘 議員

◎「小矢部ルネサンス」今後の展開について

【問】市長は、小矢部市制50周年の節目を機に、先人から受け継いだ土地、人、地域資源を再評価し、そこから小矢部市の新たな魅力を生み出していくことが「小矢部ルネサンス」だとして、石動駅周辺賑わいゾーン構想、小矢部イオンターチエンジン周辺ショッピングゾーン構想、源平俱利伽羅歴史体験ゾーン構想の3つの構想を持って取り組まれたが、このままで終わるはずはないと思う。平成25年度には具体的な再生復興の事業展開があると期待している。改めて、今後の決意を伺う。

【答】市制50周年の記念事業の実施を通して、市民の皆さんの郷土に対する思いや、自らがまちづくりに関わっていかうとする熱意がいかに大きいものかを感じた。また、市民の皆さんには、郷土に対する自らの思いを再発見し、再確認し、市民の絆が一層強まったことと思っており、最大の効果であると考えている。3つの構想は長期的展望に立って取り組む「お

やべ夢構想」として掲げたもので、市民の皆さんが活躍できるための土台づくりととらえており、これらの構想につきましては着実な推進を図っていく。

◎北陸新幹線と並行在来線について

【問】富山県の全市がかかわる第三セクター会社によって運行される並行在来線は、今後の交渉によって、はっきりと明暗を分ける、まさに正念場と言える局面でないかと思っている。従来の議論の中で、こんな事にならなければ良いが、と思う残念な事態として、北陸新幹線の騒音と振動、そして、大阪名古屋からの特急列車が金沢駅止まりとなること。越境乗り継ぎ不合理的と運賃の値上げ、普通列車の運行本数の減少、また危険な踏切が存続してしまう。そんなことがないように、今後の交渉に当たっていただきたい。

【答】富山県並行在来線対策協議会の経営計画概要は、運行ダイヤは現在の利便性の確保を基本とし、現行本数を維持する。二つ目には、快速列車を県東部から金沢間の運行を検討する。三つ目は、運賃水準の設定は、利用者の負担が過度に増加しないよう協議することな

どが示されている。

【問】本市が目指す目標は2つあるのではないか。一つは、富山や高岡、金沢方面への通勤通学の利便性の向上、二つ目は、踏切を平坦で歩道のあるものにする。この2つがとても大切でないか。

【答】本市からの要望として、利便性の向上、快速列車の石動駅への停車、運賃の値上げ幅の抑制、会社間の乗継割引、緑の窓口の存続などの意見を提出している。

また、踏切の段差解消については、鉄道の高速度が必要ない場合は解消が可能と考えている。今後、第三セクター会社、道路管理者の富山県や地元町内会とも協議を進め、課題を整理し検討したい。

◎地域資源を見直す取り組みについて

【問】本市には非常に多くの地域資源が眠っている。大河ドラマの誘致を進める一方で、貴重な資源に磨きをかける取り組みも必要でないか。

【答】先人から受け継いだ大切な観光資源が数多くある。現在、義仲・巴のNHK大河ドラマ誘致にあわせて、歴史と文化が薫るまちづくり事業では、俱利伽羅源平の郷土生口の改修や展望台の整備、自然

公園等整備事業では古道の整備や周辺案内看板の設置等により、観光資源のブラッシュアップに努めている。

【問】富山県観光連盟が作成した観光パンフレットに、本市観光拠点の扱いが小さく、お土産は一切掲載されていない。非常にがっかりしたというか、愕然とした。今後の取り組みにおいて、明確な課題があると思う。市職員の対応力や人材育成の強化は喫緊の課題であり、長期研修や人事交流について、検討すべきでないか。

【答】観光パンフレットは県外から富山県への誘客を図る目的に、認知度の高い観光資源が中心である。また、お土産は紹介される企業が会員登録と広告料を納入されている。富山県のパンフレットは、県外観光客への有効なPR手段の一つであり、今後本市の観光資源を多く掲載していただくよう強く働きかけるとともに、市観光協会を通じて市内企業に対し、お土産パンフレットへの掲載を働きかけるなど、魅力ある商品の発掘にも努めたい。さらに今後の新たな定員管理計画策定において、長期派遣あるいは人事交流を視野に入れて検討をさせていただきます。

一 般 質 問

◎質問者 嶋田 幸恵 議員

【問】消防団員確保のため、分団がそれぞれの特色を出し、確保に努めていることについてどう考えているのか。

【答】消防団協力事業所表示制度や市の入札において地元貢献項目の採用等を実施している。また、平成23年度には協力事業所拡大のため市内事業所に働きかけを行い、PR活動に努めている。

【問】消防団員の報酬についてはどのように考えているのか。

【答】消防団員確保を図るためにも処遇改善は必要と考えており、ご労苦に報いるためにも平成25年度予算編成の中で報酬の見直しを検討したい。

【問】災害備蓄品を平成28年度までに計画的に進めるとのことだが、しっかりした考えがあるのか。

【答】備蓄品整備を早急に行うことは望ましいが、備蓄品に関する様々な意見があることから、今後予算の中で検討したい。

【問】AEDマップが作成されたが、夜間や土・日に使える施設は少ないのではないか。また、コンビニに置いてはどうか。

【答】今後、夜間・休日利用など効率的な使用ができないか検討したい。コンビニは24時間営業で良い面もあるが、費用等も発生することから、今後の検討課題である。

【問】保育所の統廃合、民営化の答申が出されているが、どのように着手していくのか。

【答】庁内に設置した公共施設のあり方検討委員会の中で、答申のあった津沢と藪波の2ヶ所の保育所の民営化の検討を進めたい。まずは、石動西部保育園の民営化後の実績を検証した上で、検討委員会としての結論を出したい。

【問】市民参画の審議委員会が平日の日に開催されているが、時間帯、曜日を考慮して日曜日や夜間にするなどで、参画して欲しいと思う意志が伝わるのではないか。

【答】開催の時間や曜日は、審議会ごとに委員の意見を聞きながら開催されることが望ましいことから、夜間や休日開催もやぶさかでない。また、各層の方からの意見を市政に反映させることは大変重要であり、考慮しながら審議会運営に当たりたい。

*その他、次の質問がありました。「ゴミの分別とリサイクル」、「北陸中央病院との連携」について

◎質問者 白井 中 議員

【問】新幹線開業効果を最大限生かした石動駅周辺整備、賑わい創出について伺う。

【答】まちづくりの取り組みのため南北市街地の一体化、駅の利用促進のための駅南駐車場の整備などを整備する予定だ。さらに、今後は商業施設誘致にも取り組んでいきたい。

【問】広域連携による観光事業について伺う。

【答】越中・飛騨観光協議会、富山県西部地区観光協議会、金沢・富山県西部観光推進協議会、飛越能経済観光都市懇談会などに参画して、合同出向宣伝や物産展の開催、観光情報の発信、広域観光ルートの開発などの連携事業を推進している。これからも、積極的に参加していく。

【問】石動駅前商店街の活性化について伺う。

【答】空き店舗を活用した「街かどサロンふれあい」の開設・運営やイベントを支援するなど、にぎわい創出に取り組んできた。将来的には石動駅北側市街地と南側の新たな市街地をつなげ、石動駅を中

心に一体的なまちづくりを進める。
【問】アートハウスの施設について伺う。

【答】庁内調査検討チームの最終報告書では、ハード面・ソフト面及び費用面で一定の基準を満たす施設であれば、建設を是とする判断をした。基本的な部分は、美術館等施設建設調査検討委員会の報告書と大きな違いがない。今後の予定と計画は、まずは議会の理解と協力を得ることが必要だと考えている。

【問】本市のイメージアップを初め観光産業の振興や観光客の誘客増大に著実に実績を挙げている、小矢部市観光協会に対する財政的支援について伺う。

【答】これまでの各種施策の展開は、本市の観光振興に大きく寄与していると高く評価している。今後、小矢部市観光協会と市とは強力にタッグを組んで観光客の増加を図っていく。当協会の事業展開に支障のない事務局体制、そして事業費の確保に努め、本市の観光振興を図っていく。

*その他、次の質問がありました。「婚活推進の財政的支援」、「ワーク・ライフ・バランスの実現」について

一 般 質 問

◎質問者 石田 義弘 議員

【問】平成25年度は第6次総合計画前期実施計画の最終年であるが、進捗状況並びに現状を踏まえ、後期計画の見直し等があるのか。

【答】住民満足度調査に基づき各種施策の満足度や重要度を検証するほか、事務事業評価や議会の事業評価などにより、評価・検証を行い、平成25年度中に後期実施計画を策定したい。

【問】倶利伽羅トンネルの改修整備の早期改修に向けての決意及び今後の具体的な取り組みを伺う。

【答】昭和42年に旧国鉄のトンネルを改修し、45年あまりの歳月がたち、老朽化も著しく、歩道もなく、安全・安心であると言える状態ではないことから、倶利伽羅トンネルの整備を第一項目として国及び県へ重点要望している。

【問】弱者対策として、ひとり暮らしや高齢者世帯把握のため、市社会福祉協議会と民生委員・児童委員と連携して「ほのぼの福祉世帯カード」を作成しているが、登録されていない世帯はどのように把握しているのか。

【答】カードへの登録に同意されな

い方もいることから、今後とも制度のPRに努め、関係機関が連携を密にし、見守りや支援が必要な方に登録いただき、この制度の充実を図っていく。

【問】散居村、中山間地を抱える本市の買い物難民に対して、今後どう対処するのか。

【答】全地区社会福祉協議会でケアネット活動があり、買い物物を初めとしてゴミ出しや除雪等の支援を提供している。また、配食サービスでは見守りも含めて夕食を配達している。また、訪問介護による買い物支援が定期的に提供されている。

【問】体育施設を利用したスポーツ合宿の誘致に取り組む考え方を伺う。

【答】積極的にスポーツ合宿を誘致するため、市独自の支援制度について、その効果も踏まえて検討していきたい。

【問】スポーツでまちおこしをして、本市を全国にPRし、交流人口を増やしてはどうか。

【答】各種大会やイベントを誘致・開催することにより、多くの人が本市を訪れ、経済効果が考えられる。今後、関係団体と協議していく。

◎質問者 砂田 喜昭 議員

【問】市長はTPPについて、「聖域無き関税撤廃に反対だ」と言われたが、聖域を設ければ良いのか、無条件で反対だと言われないのか。

【答】聖域無き関税撤廃を前提にする限り、反対の立場を貫くということだ。TPPは農業だけではなく、医療、食品、保険などにも明らかに影響が出ることは分かっていることから、守るべきものはしっかりと守ると言うことだ。

【問】公共事業に関して、TPPに入るとどのような影響を受けると情報収集しているのか。

【答】本市の発注する公共事業のそれぞれの金額が基準額より小さく、対象となる事業は少ないと考えている。国において情報提供をしっかりと行うことが大事だと考えている。

【問】発達障害、ちょっと気になる子の問題で、先生と子どもをつなぐ上で、スタディメイトや適応指導教室指導員を常勤化すれば、コミュニケーションの拡大が図られるのではないかと。

【答】支援を必要とする子が増加しており、市としては支援の充実

を図るため、新年度の予算編成の中で配置時間の拡大、中学校へのスタディメイト配置も検討中だが、常勤化は次の段階と考えている。

【問】学校図書館司書の勤務時間の延長がでないか伺う。

【答】県内に先駆けて専任配置しているが、現在1日4時間の配置である。より効果的な指導を行うには配置時間の拡大が必要であり、予算編成の中で検討していく。

【問】アウトレットモールを含めた大型商業施設の誘致で、市は用地を買い上げ、造成して運営会社に貸し付けようとしている。全国的には自治体あまり関与していない。市の財政的負担はどうか。

【答】市民から大型商業施設誘致を望む声がある。財政面は開発業者との話し合いの中で議論するが、いまは具体的に申し上げられない。

【問】売上げが期待できないと途中で撤退し、市には借金と空き地だけが残る懸念はないか。

【答】十分検討した上での進出となるので、そのリスクは少ない。

*その他、次の質問がありました。
「小学校普通教室へのエアコン設置」、「震災がれき焼却灰受け入れに当たって住民合意を得ること」について

一 般 質 問

◎質問者 藤本 雅明 議員

【問】本市の乳幼児期における発達障害の早期発見の取り組みについて伺う。

【答】発育の節目となる健診や相談会では、それぞれの時期に合わせた質問票を用いて、日常生活・発育の状況を把握するとともに、保護者からの相談も受けている。また、小児科医の健診に加え、精神発達などの状況から、臨床心理士と個別面談の場を設けている。

【問】保育士の発達障害児に対する研修はどうしているのか。

【答】保育士の勉強会、各保育所でのケース会議、砺波総合支援学校などの関係機関が連携した検討会など、各種講演会や研修会に積極的に参加して、子どもたちの成長や保護者の心の支えになるよう努めている。

【問】平成23年12月に小矢部市文化スポーツセンターのあり方検討委員会から提言を受けているが、どう対応されたのか。

【答】平成24年度は緊急性の高い屋上防水と外壁の補修を実施した。また、2階会議室の多目的室への改修や地下を倉庫として利用する

などの意見もいただいているが、相当の費用がかかることから、早急というのは少し難しい。

【問】体育施設使用料の見直しの検討状況について伺う。

【答】現在庁内組織で、公共施設のあり方検討委員会を設置し、検討している。その中で、施設の利用料金についても検討することになっていく。

【問】道路、橋梁をはじめ学校、公民館など、公共物の点検業務はどうなっているのか。

【答】市道は日頃からの道路パトロールの際に目視点検、市道橋梁は平成22年度から橋長15メートル以上の59橋梁の診断や点検を行った。また、公共施設の点検はそれぞれの施設管理者が、専門業者への委託や目視等により日々管理している。

【問】公共施設の長寿命化対策について伺う。

【答】供用開始後、相当の年数を経過した施設が多くなっていると認識しており、長寿命化への取り組みは喫緊の課題と考えている。現在は、橋梁や公園施設の長寿命化対策に取り組んでおり、今後はその他の公共施設等についても取り組んでいきたい。

平成24年度 議長交際費支出状況

平成24年4月～平成24年11月分(単位:円)

区分	件数	金額
1 慶弔・見舞費	18	298,510
① 御祝・寸志	9	138,510
② 餞 別	6	130,000
③ 香典・供物	3	30,000
2 協 賛 費	19	100,180
3 会費・懇談会費	14	138,605
4 そ の 他	18	210,020
合 計	69	747,315
平成24年度予算額		1,400,000
執行率		53.38%

※小矢部市ホームページからご覧いただけます。

傍聴のお知らせ

市議会では、本会議と各常任・特別委員会への市民の皆様への傍聴をお待ちしております。

本会議を傍聴されたい方は、会議当日、議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。約50名の傍聴が可能です。

また、各常任・特別委員会を傍聴されたい方は、開議時刻の1時間前から30分前までの間に、議会事務局で傍聴の申し込みをしてください。定員は先着5名です。

※電話や代理の方の申し込みは、できません。

3月定例会の日程

太字はCATV・インターネット録画配信の放送予定

4日(月)10時 本会議(提案理由説明)

終了後 全員協議会

5日(火)10時 全員協議会

6日(水)10時 全員協議会

7日(木) 議案調査日

8日(金) 議案調査日

11日(月)9時 議会運営委員会

10時 本会議(代表・一般質問)

12日(火)10時 本会議(一般質問)

13日(水)10時 予算特別委員会

14日(木)10時 予算特別委員会

15日(金)10時 予算特別委員会

18日(月)14時 民生文教常任委員会

19日(火)14時 産業建設常任委員会

21日(木)14時 総務常任委員会

22日(金)10時 まちづくり特別委員会

14時 防災・環境対策特別委員会

終了後 委員長会議

25日(月)10時 議会運営委員会

13時 全員協議会

15時 本会議(質疑・討論・表決)

議会報告会を開催しました。

小矢部市議会基本条例に基づき、平成24年10月30日・31日の両日に議会報告会を開催しました。

小矢部市議会基本条例では、議会活動に関する情報を積極的に公開するとともに、市民の皆様のご意見を把握して、議会活動に市民の意見を反映させるため、市議会が議会報告会を開催することが定められています。平成22年10月に第1回議会報告会の開催以降、毎年開催し、平成24年10月30日に石動コミュニティセンター及び東蟹谷公民館で、10月31日に津沢コミュニティプラザ及び農村環境改善センターの4カ所で議会報告会を開催し、103人の市民の皆様にご参加いただきました。



「農村環境改善センター」



「津沢コミュニティプラザ」

議会報告会では、初めに平成24年9月定例会における各常任委員会の審査状況などについて、ご報告いたしました。その後、市民の皆様から市議会や市政に関して、次のようなご意見などを伺いました。

●石動コミュニティセンター

Q：土砂災害ハザードマップは、住民に不安を募らせるのではないか。

A：住民の対応については、担当課と協議し後日回答したい。

●東蟹谷公民館

Q：東蟹谷保育所では0歳児の受け入れがないので、何とかならないか。

A：保育士の勤務体制から、0歳児の少数地区では受け入れには無理がある。

●津沢コミュニティプラザ

Q：今後、小矢部消防署津沢出張所が整備されると聞いているがどうか。

A：砺波地域消防組合において、津沢出張所のあり方を検討している。

●農村環境改善センター

Q：市内にはどの程度空き家があるのか。また、その対策はどうか。

A：プライバシー保護もあるが、重要な課題として現在実態調査を進めている。 など

また、議会報告会の開催時に実施したアンケートでは、多くの方から今回のような議会報告会を開催してほしいとのご意見をいただき、その他、議会報告会の開催回数・日時を検討してほしい、参加者が増える方法をもっと探してほしいなどといったご意見をいただきました。

なお、議会報告会の説明資料、会場での質疑応答及びアンケート結果は、小矢部市のホームページに掲載してありますので、ご覧ください。

今回いただきました貴重なご意見を踏まえ、今後の議会活動に取り入れていきたいと考えています。引き続き今後も、市民の皆様により分かりやすい議会報告会の開催を行ってまいります。

■ 会務報告

平成 24 年 9 月 26 日から平成 24 年 12 月 6 日まで

年月日	件名	摘要	開催地
24. 10. 2	副議長就任あいさつ回り	・国会議員等	東京都
10. 3	平成 24 年度市議会議員研修会・交流会	・「持続可能」な社会の構築と再生可能エネルギーの可能性について	富山市
10. 5	小矢部市・津幡町親善グランドゴルフ大会		津幡町
10. 9	砺波地方介護保険組合議会運営委員会・全員協議会・本会議	・監査委員の選任について	砺波市
10. 10	国道 471 号整備促進期成同盟会、主要地方道砺波小矢部線整備促進期成同盟会、国道 359 号改修促進期成同盟会合同要望活動	・小矢部市、砺波市、南砺市、富山市による要望活動として国道交通省富山河川国道事務所及び富山県(県庁、富山土木センター、砺波土木センター、小矢部土木事務所)へ要望	富山市等
10. 12	正副議長研修会	・新幹線開業に向けた観光戦略づくりについて	射水市
10. 15～17	決算特別委員会	・認定第 1 号平成 23 年度小矢部市一般会計歳入歳出決算～認定第 7 号平成 23 年度小矢部市水道事業会計決算	第二委員会室
10. 18	北信越市議会議長会評議員会	・会務報告 ・各県市議会議長会提出議案審議	金沢市
10. 22	まちづくり特別委員会	・おやべ・ひみ・たかおかビジネス交流交歓会 in 東京の開催について等報告 2 件	第二委員会室
10. 25	全員協議会	・小矢部市制 50 周年記念事業の実施報告について等報告 7 件	第一委員会室
	議員懇談会	・議会報告会について	第二委員会室
	議会だより編集委員会	・議会だより No167 について	第二委員会室
10. 30～31	議会報告会	・議会からの報告 1. 平成 24 年 9 月定例会常任委員会の審査報告 2. 市議会及び市政に関する意見交換	・石動コミュニティセンター ・東蟹谷公民館 ・津沢コミュニティプラザ ・農村環境改善センター
10. 31	総務常任委員会	・外部評価委員会について報告 1 件	第二委員会室
11. 1	民生文教常任委員会	・平成 25 年度おやべ型 1%まちづくり事業の募集について報告 1 件	第二委員会室
11. 2	広域行政圏市議会協議会第 61 回理事会	・広域行政施策に関する要望(案)について等	東京都
11. 4	小矢部市・津幡町交流推進協議会	・義仲・巴ゆかりの地探訪	朝日町
11. 6	産業建設常任委員会	・施設調査 4 箇所 ・小矢部市バイオマス活用推進計画基礎調査結果の報告について等報告 4 件	第二委員会室
11. 7～8	防災・環境対策特別委員会行政視察	・小水力発電所について ・電気自動車等普及促進事業について ・きおくみらい長岡震災アーカイブセンター ・防災・災害対策について	富山市 新潟県柏崎市 長岡市 小千谷市
11. 8	全国市議会議長会第 93 回評議員会	・委員会等報告 ・部会及び会長提出議案審議	東京都
11. 12	防災・環境対策特別委員会	・小矢部市液化化しやすさマップについて報告 1 件	第二委員会室
11. 13～15	「立山の塔」慰霊行事	・「立山の塔」慰霊祭 ・平和の礎・平和記念資料館等巡拝	沖縄県糸満市
11. 19～20	まちづくり特別委員会行政視察	・伊賀鉄道活性化事業について ・桑名駅前再開発事業・複合施設サンファーレについて	三重県伊賀市 桑名市
11. 26	全員協議会	・富山県並行在来線対策協議会幹事会の報告について等報告 5 件	第一委員会室
	産業建設常任委員会	・富山県都市計画区域マスタープランの見直しについて報告 1 件	第二委員会室
11. 27	沼田町議会表敬訪問	・沼田町議会・小矢部市議会交流会	市内
11. 28	議会運営委員会	・12 月定例会提出議案について ・12 月定例会議事日程について等	第二委員会室
11. 29	おやべ・ひみ・たかおかビジネス交流交歓会 in 東京	・第 1 部セミナー ・第 2 部交流交歓会	東京都

■ 市外からの行政視察

(5 件 33 人)

年月日	視察者	視察項目	人数
24. 10. 30	岐阜県可児市議会(教育福祉委員会)	・認知症あんしんネットについて	7 人
11. 6	長崎県島原市議会(教育厚生委員会)	・認知症あんしんネットについて	6 人
11. 13	岐阜県可児市議会(建設市民委員会)	・おやべ型 1%まちづくり事業について	7 人
11. 20	新潟県小千谷市議会(議長、副議長、議会運営委員会)	・議会基本条例について	8 人
11. 28	北海道沼田町議会(産建福祉常任委員会)	・富山型ディサービスについて(わくわく小矢部現地視察)	5 人

委員会報告

各委員会の審議過程の中で、市当局に対し、次の意見がありました。

決算特別委員会

一点目は、今年度小矢部市議会の三常任委員会において事業評価を行い、その結果を決算特別委員会に報告した。当局はしっかりと受け止め、今後の市政運営に反映させること。

二点目は、歳出予算の執行段階において多額の不用額の発生が見込まれる場合には、早期の予算把握に努め、補正予算等での対応を行う等、予算の有効活用を積極的に進めること。

三点目は、公共施設の長寿命化や維持管理については、行政組織全体の課題であり、情報の共有化等を通じた各担当課の連携を図り、事業の実効性を高める方策を積極的に講じること。

四点目は、市内には自主防災会が各地区に組織されているが、将来予想される砺波平野断層帯、呉羽山断層帯が起因となる地震や原子力災害等

の各種災害に備えるため、市民への積極的な活動支援と充実した予算確保を図ること。
五点目は、国民健康保険事業については、市民が健康で過ごせるよう疾病の早期発見・早期予防のため、特定健診等健康診査の周知を図り、予算に対応した目標健診人数の設定を行い、関係機関との連携のもと、積極的な健康増進対策事業等の展開を図ること。

総務常任委員会

一点目は、本市における各地区の自主防災組織は、地域の自助・共助による総合的な防災力の強化に貢献する組織である。その地域で想定される危険要因や問題を解決し、注意を喚起するためにも地域の主体的な防災訓練等の活動が大切である。

市当局は各地区の自主防災組織と連携し、その組織体制の充実強化に努めること。

二点目は、本市が力を注いでいる防災士の育成については、今年度、新たな防災士も誕生し、増員が図られたことから、地区防災組織と連携して、一層の防災力の強化が期待される。さらに、速やかな防災士の増員を図るためにも市当局の強力な支援が不可欠

である。
今後は、防災士の組織化を進め、地域における防災リーダーとして活躍されるよう十分な研修・訓練等の支援に努めること。
三点目は、本市の地域防災計画の見直しが進んでいるが、市民の安全・安心なまちづくりのため、防災体制への取り組みについては、十分な予算確保をすること。

産業建設常任委員会

一点目は、平成二十五年度予算編成に当たっては、災害時の応急・復旧対策等、市民の安心安全に必要な不可欠な社会資本の整備・維持について、十分配慮すること。また、この冬の除雪対策においては、通学児童の安全確保を優先に、市民生活に支障をきたさぬよう万全の除雪体制で臨むとともに、除排雪に際しては、市民の皆さんのご協力について、より一層のご理解をいただき、その安全も含めて、普及に努めること。

二点目は、平成二十四年度において、事業執行がなされた畦畔緑化研究事業（草なし楽々大作戦）においては、実証実験の結果を分析するとともに、五年前から実施されてきた、農地・水・環境保全向上対策事業の結果も参考にし、本市に適した品種の選定、その施行方法及び管理方法、そして補助金交付要綱を定め、補助事業の開始に努めること。
三点目は、「空き家調査」については、老朽化した空き家の倒壊等により、市民生活が危険にさらされることがないよう適正な実態把握に努めるとともに、その対策を遅滞なく進めること。

さらに、景観やまちづくりの観点から、各課横断的に活用・活性化策を十分検討すること。

民生文教常任委員会

一点目は、最近の複雑な社会状況を反映して、全国的にもさまざまな発達障害の子どもが増えており、本市では乳幼児期から健診にて早期発見、早期支援に努めているが、現状は、発達障害について理解されていないのが現実である。発達障害のことを理解し、保護者、学校、社会全体で支えていくことが大切である。今後も早期支援、早期療育に努める十分な施策を実施すること。

二点目は、市内の学校及び公民館等は老朽化し、雨漏り

きた、農地・水・環境保全向上対策事業の結果も参考にし、本市に適した品種の選定、その施行方法及び管理方法、そして補助金交付要綱を定め、補助事業の開始に努めること。
三点目は、「空き家調査」については、老朽化した空き家の倒壊等により、市民生活が危険にさらされることがないよう適正な実態把握に努めるとともに、その対策を遅滞なく進めること。

編集後記

11月27日、姉妹都市である北海道沼田町議会の全議員10名と職員2名、併せて12名が、このほど小矢部市制施行50周年の節目のお祝いに、小矢部市を表敬訪問されました。

沼田町は明治27年に小矢部市出身の沼田喜三郎さんが開拓の鋏を入れられてから118年目を迎えます。現在、夜高行燈祭りをはじめ、青少年交流事業や特産品の販売など多くの交流が続けられています。

市議会としましても、今後両市町の発展と繁栄、一層の友好関係が促進されることを沼田町議会議員の皆さんと再確認しました。

次回の「議会だより」は、平成25年5月の予定です。
(議会だより編集委員一同)